

# 第1回草津市総合計画審議会 会議録

■日時：

平成28年7月7日（木）10時00分～11時50分

■場所：

草津市役所4階 行政委員会室

■出席委員：

相澤委員、石本委員、伊藤（定雄）委員、伊藤（定裕）委員、喜田委員、肥塚委員、  
小林委員、大東委員、大道委員、高内委員、田中委員、西村委員、三尾委員、森本委員、  
山口委員

■欠席委員：

清水委員、塚口委員、中委員

■事務局：

橋川市長

総合政策部 山本部長、岡野副部長

企画調整課 南川課長、有村副参事、中井主任、直井主任

■傍聴者：

なし

## 1. 開会

---

【橋川市長】

第5次総合計画は「出会い」「ふるさと」「元気」「うるおい」の四つのキーワードのもとで進めている。目標年次は平成32年だが、今後さらに人口減少と超高齢化が進むなか、10年から30年先を見据えた基礎づくりの時期であることを踏まえて、第3期基本計画に係る議論をお願いしたい。

【事務局】

草津市総合計画審議会設置条例施行規則第5条第2項に基づき、半数要件を満たしており審議会が成立していることを報告。

## 2. 委員自己紹介、事務局紹介

---

### 3. 委員長、副委員長の選出について

---

会長：肥塚委員、副会長：小林委員

※草津市総合計画審議会設置条例施行規則第4条第1項に基づき、委員の互選により会長および副会長を選出。

### 4. 諮問について

---

橋川市長より、第5次草津市総合計画第3期基本計画を策定するにあたり、草津市総合計画審議会設置条例第1条の規定に基づき、審議会の意見を求める。

### 5. 議題

---

#### (1) 第5次草津市総合計画について

##### 【事務局】

<資料2について説明>

質疑なし

#### (2) 第3期基本計画策定方針と今後の審議スケジュールについて

##### 【事務局】

<資料3、4について説明>

##### ●委員

第3期基本計画は、10年間の基本構想におけるまとめの段階であるが、過去2期間の成果と反省、残課題を盛り込んで、新たな情勢変化等があればそれも含めたものでいくのか。また、平成32年以降の基本構想ともつながるような議論も含めるのか。

##### ●委員

平成29年度から平成32年度を計画期間とする第3期基本計画と、平成27年度に策定された草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略は計画期間が重複する。なおかつ、総合戦略における国の財政的な支援は、目標の達成状況の検証等を行いつつ事業を執行していかなければならないことを踏まえると、この取組は最優先課題であると考えられる。第3期基本計画の中にどのように盛り込まれるのか。

滋賀県では、総合戦略に係る事業の多くを28年度予算に盛り込んで実践していくことを明確にされている。草津市では基本計画と予算を関連付けるとのことだが如何か。

●事務局

第2回審議会の議題とする予定であるが、第3期基本計画の策定の視点を6つ設けている。まず、国の制度や根拠法令、市の施策展開の反映。二つ目が、市民意識調査に基づく現状分析や市民ニーズの反映。三つ目が、市長選挙時のマニフェストに基づく「ずっと草津」宣言ロードマップとの連動。四つ目が、第2期基本計画の期中評価の反映。五つ目が、草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の反映。六つ目が、市の個別計画との連動である。これらの視点を踏まえて策定していく考えである。詳しくは、第2回の審議会で説明する。

●会長

第3期基本計画と他の個別計画等について、整合性をもって説明するのはチャレンジ的な側面もあるが、しっかりと議論して共有理解していきたい。

平成27年度国勢調査の確定値は、いつ頃公表されるのか。

●事務局

平成28年10月に公表される予定である。

(3) 策定にあたっての基礎資料について【事務局】

<資料6、7、8について説明>

●会長

第2期基本計画の期中評価で、指標の目標達成度が低かった基本方針の説明をされたが、市としてはどの程度の評価水準について、シビアに見るべきであると考えているのか。

また、例えば、目標値に対して達成率が2倍以上の基本方針は、目標の設定が適切であったのか。

●事務局

期中評価はあくまで内部評価であり、指標の目標設定が甘い可能性もあるため、十分検討していきたい。

●委員

市ホームページを見ると、第2期基本計画に対するベンチマークの結果、市民意識調査の結果、施策評価シート等が掲載されているが、この審議会で提示された資料の中にすべて含まれていると解釈してよいか。

●事務局

そのように考えている。

●委員

市民意識調査を市民 3,000 人に対して実施されて、回答率が 27.3%というのは低いように感じる。回答者の年齢も偏っており、20 歳未満は少ない。幅広い年代の方により、回収率が上がると良い。

●事務局

より多くの方に回答していただけるよう工夫していきたい。

●委員

データブック 2016 に様々な情報が掲載されているが、市内事業者の推移がわかるよう、出来れば 1 次、2 次、3 次の別で事業所数を示してほしい。

商店街でも外食産業ばかりが増えており、随分まちの姿も変わってきたと感じる。

●事務局

既存の統計情報等によりお示ししたい。

●会長

市民意識調査結果の見直し優先度が、第 3 期基本計画の内容に反映されると理解したらよいか。

●事務局

中身を吟味したうえで、反映の可否について検証していきたい。

●会長

市民の優先度が高くても、市の施策としてどうするかは別の問題である。ただし、なぜそうなのかは説明する必要があると理解してよろしいか。

●事務局

そのように理解していただきたい。

(4) 草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

【事務局】

<資料 9 について説明>

質疑なし

## 6. 閉会

---

### ●事務局

第2回審議会は、7月21日開催を予定している。次回は、第3期基本計画の基本方針と施策の体系案、リーディングプロジェクト案を提示し、ご意見をいただいて第3回の総合計画素案づくりにつなげていきたい。

### ●閉会にあたって（山本総合政策部長）

ご審議をいただきましてありがとうございます。総合計画は、市が将来に向けて目指すまちづくりの方向、それを実現するための施策をまとめる最上位の計画であります。

今後の少子高齢化社会における課題等を検討しつつ、「出会いが織りなすふるさと“元気”と“うるおい”のあるまち草津」を目指した総合計画を策定していきたいと考えておりますので、今後ともご意見、ご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

以上